



# Tanabe East Rotary Club in 2017-18

2017-18年度RI会長: イアン H.S. ライスリー  
 第2640地区ガバナー: 岡本 浩  
 田辺東ロータリークラブ  
 創立: 昭和49年5月15日  
 会長: 木村 壽一  
 幹事: 片井 貢



ロータリー:  
変化をもたらす

例会場/事務所: 田辺市下屋敷町81-10  
 きのくに信用金庫田辺支店3F  
 Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008  
<http://tanabe-east-rc.com/>  
 E-mail info@tanabe-east-rc.com  
 例会: 毎週水曜日 12:30~  
 ビジターフィー ¥2,000

## ○会長報告 会長 木村 壽一



■4月7日(土)、8日(日) 第1分区全体集会在開催されました。7日(土) ホテルなぎさやに於いて前夜祭(懇親会)、8日(日) 熊野那智大社正式参拝、青岸渡寺正式参拝、その後、災害啓発センターに於いて講演会が開催されました。会長 木村、幹事 片井貢君、副会長 吉田和枝君、会長エレクト 武田静也君、前ガバナー補佐 坂本正人君に出席していただきました。ご苦労様でした。

■本日のお客様は、JA紀南 代表理事組合長 本田 勉様です。後ほど宜しくお願ひ致します。

■本日は、和づち(湯川和洋君)の鰻弁当となっております。

■本日の例会終了後、定例理事会を開催致します。理事・役員の方はお残りください。

## ○幹事報告 幹事 片井 貢



■例会日時変更(週報と一緒に回覧しています)

◎白浜RC 4月13日(金) → 4月13日(金) 19:00~  
 場所: レストラン坂倉

◎田辺はまゆうRC

5月1日(火) → 休会

◎和歌山中RC 4月27日(金) → 4月27日(金) 19:00~  
 場所: ダイワロイネットホテル和歌山4F  
 <フリートーキング>

■メイクアップ

◎4月7日 前夜祭(懇親会)

◎4月8日 第1分区全体集会  
 片井貢君、木村壽一君、坂本正人君  
 武田静也君、吉田和枝君

■回覧

◎「ひじうま報告187号」

◎和歌山県福祉保健部長より

「平成30年度『ダメ。ゼッタイ。』普及運動に対する後援と御協力について(依頼)」

◎岡本ガバナー事務所より

「会長会議・地区立法案検討会開催の予定について」

「トロント国際大会における地区ナイト(ジャパンナイト)についてのお願い」

「オンツー・トロント ジャパンナイト送金明細書」

◎樫畑ガバナーエレクト事務所より

「『ロータリーデー』のお願い」

## ○本日の唱歌

「春の小川」

唱歌委員 早稲田 清司 君



## ○出席報告

会員数 43名 義務免除 2名 本日の欠席者 8名  
 本日出席率 80.49% 3月28日の修正出席率 92.31%

四つのテスト: 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

## 〇ゲスト・ピジター

J A 紀南 代表理事組合長 本田 勉 様



## 〇にこにこ報告

(敬称略)

◇本田 勉様より卓話謝礼をニコニコ箱に頂きました。

◇J A 紀南 代表理事組合長 本田 勉 様をお迎えして

愛須 勝章、上原 俊宏、岡本 博、片井 貢  
木村 壽一、小山 實、坂本 正人、杉若 雅宣  
武田 静也、竹中 悟、竹村 英一、谷中 順次郎  
谷本 司、野村 憲司、本田 耕二、前田 吉彦  
丸山 博之、森本 修至、山本 亘、吉本 正美  
早稲田 清司

◇4月1日で、コマツ建機販売(株)は社名が変わりました。「コマツ カスタマーサポート(株)」となり、コマツリフト、コマツレンタル、3社統合し、3社一体で頑張っていきます!! 丸山 勇人

◇うなぎ、いつもありがとうございます!また、お店にあったかいのを食べに来て下さい! 湯川 和洋

◇4月7日・8日、那智勝浦にて、クラブ合同例会に参加させて頂きました。7日は親睦がメインで、岡本ガバナー夫婦共々、楽しいひとときでした。次の日の8日は那智大社参拝でした。大しだれ桜の下で、宮司の話を聞きながら。又、丁度お釈迦様の命日でしたので、青岸渡寺では甘茶を献茶しました。老館長さんのお話とお祓いを受けました。感無量!ロータリーメンバーならこそその待遇だと感謝!そのあと、7年前の土砂災害のところを通り、センターにてお話を伺いました。この度は参加させて頂き、本当によかったと思いました。 吉田 和枝

◇早退お詫び

佐田 一三

## 〇本日のプログラム

J A 紀南  
代表理事組合長

本田 勉 様



「地域社会と農協」  
～農業・農協改革について～

農協の歴史

1900年(明治33年) ・産業組合法公布  
産業組合設立

1906年(明治39年) ・産業組合法改正  
(信用・共済の併営)

1910年(明治43年) ・産業組合中央会設立

1914年(大正3年) ・第1次世界大戦勃発

1918年(大正7年) ・米騒動と小作争議が頻発

1923年(大正12年) ・産業組合中央金庫設立

1927年(昭和2年)

1931年(昭和6年)

1937年(昭和12年)

1941年(昭和16年)

1942年(昭和17年)

1943年(昭和18年)

1945年(昭和20年)

1946年(昭和21年)

1947年(昭和22年)

1948年(昭和23年)

1951年(昭和26年)

1952年(昭和27年)

1954年(昭和29年)

1961年(昭和36年)

1963年(昭和38年)

1964年(昭和39年)

・金融恐慌始まる

・満州事变勃発

・日中戦争始まる

・太平洋戦争始まる

・食糧管理法公布

・農業団体法公布(農業会設立)

・終戦(ポツダム宣言受諾)

・新憲法公布

・農協法公布(農業会解散)

・単協・全販・全購・全指連創立

・全共連設立

・第1回全国農協大会開催

・農協法改正(全中創立総会)

・農業基本法公布

農協合併助成法公布

・バナナ・砂糖等輸入自由化

・レモン自由化

第18回オリンピック東京大会

四つのテスト: 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

## 1、農協の歴史

戦時中は帝国農会があったが、22年の農協法が出来てから解体され、農業を農協へ受け継いだ。帝国農会はいわゆる御用組合であったため、農協の出自には疑問が残る。

戦後は農村の民主化と自作農の保護を目的に、総合農協が設立された。その時にも職能組合とするか総合農協とするか議論があったようであるが、最終的に①農業金融 ②流通 ③農産物価格 ④栽培技術 ⑤①～④の4つを統括するという事で総合農協になったのである。

## 2、農業改革とは？

安倍内閣は、アベノミクスと称する経済政策を進めている。中でもTPPを推進することで、3本目の矢、成長戦略の達成を目指している。経済の成長の為には、規制の撤廃が必要で、特に農業協同組合は規制に守られた部分が多い。操業を競争力のある成長産業にするために、5つのKPI(成果目標)を立てた。

- ①今後10年間で、全農地高嶺の8割を担い手に集積
- ②今後10年間で、担い手のコメの生産コストを全開平均の4割削減
- ③今後10年間で、法人経営体を10年比4倍の5万法人に
- ④6次産業化の市場規模を1兆円から20年に10兆円へ
- ⑤20年に農林水産物・食品の輸出額を現在の4500億円から1兆円に

この成果目標を達成して、農村・農業所得を10年で倍増するという。

12年の農村・農業所得は約3.4兆円、うち農業所得は約3兆円、毎年2%の経済成長の効果を見て10年で0.7兆円、米の生産費4割を削減して0.5兆円、6次産業の販売額1.5兆円を10兆円にすると所得は2.4兆円に増加する。

$0.7 + 0.5 + 2.4 = 3.6$ 兆円となり12年の農村・農業所得とほぼ同じとなる。輸出は1500億程度なのでここでは考慮しない。

以上5つの成果目標を達成すれば、農村・農業所得が10年で、2倍になる計算だ。しかし、全ての農家の所得が2倍になるわけではない。

農業改革には、農業委員会改革、農地法改正などが含まれている。目的は企業の農業参入と、農地の取得である。

## 3、農協改革について

政府は農業を成長産業にするため、農協の改革を断行する考えだ。戦後の農政は、食糧増産の為小作入に土地を与え自作農とすることにより農家の生産意欲を高め、生産力を3~4割アップに成功した。産業界の財閥解体の農業版である。しかし、小規模の農家が増えることにより、協同組合を組織する必要が生じた。また、その協同組合を経営指導するための中央会を組織したのは前述の通りである。

政府は、中央会が監査を通じて全国の単協を縛り、自由な経営をできなくしているから、中央会の法的な位置づけをなくしてその縛りをなくすことが農業の成長産業化に繋がるという。論理的な根拠が分からない改革である。その背景には在日米商工会議所の存在があり、意見書が政府に提出されている。

「①共済と、金融庁規制下の保険会社の間に平等な競争関係の確立を

- ②JAグループは日本の農業を強化し、且つ日本の経済成長に資する形で組織改革を行うべき  
JAグループの金融事業(信用・共済)を金融庁規制下にある金融機関と同等の規制下に置くよう要請する」

要は共済の資産57兆円、金融資産100兆円を市場に解放しろというのがアメリカの要請で、政府はその通りを言っているのである。

## 4、JAグループについて

JAグループとは、マスコミなどでよく使われている言葉であるが、一般にはよく理解されていないのではないかと。

まず単協と呼ばれる各地域のJAがある。JA紀南もその一つで、和歌山県下には8つの単協がある。単協はそれぞれ総合事業を営んでおり、営農(販売・購買・指導)をはじめ信用・共済・生活(店舗・地域貢献・生活指導)の各事業を行っている。単協の各事業を統括する組織として、県農(和歌山県農業協同組合連合会)・信連(和歌山県信用農業協同組合連合会)・共済連和歌山県本部・中央会(和歌山県農業協同組合中央会)がある。更に各県を統括するのが全農(全国農業協同組合連合会)・中金(農林中央金庫)・全中(全国農業協同組合中央会)がある。

## 5、アベノミクス

安倍内閣は、経済再生内閣として3つの柱を立て、デフレからの脱却を図った。大胆な金融緩和・大幅

